

市民フォーラム:「東広島市の景観と文化遺産を考えよう:西条酒蔵通りから」

— 日本の20世紀遺産20選認定(ICOMOS)を記念して —

(入場無料・予約不要)

開催日時: 2019年1月23日(水)午後2時~5時 (開場:1時30分)

開催場所:「アザレアホール」 (サンスクエア:東広島市西条西本町28-6 電話:082-424-3811)

第1部: 研修旅行報告 「八女市、有田町から学ぶ」(マスターズ代表幹事 渡部 和彦)

第2部: シンポジウム

「景観・文化遺産と東広島市の都市づくり(マスターズ会員・広大名誉教授 塚本 俊明)」

「20世紀遺産・西条酒蔵通りの未来 (西条酒造協会理事長 前垣 寿男)」

「呉市における景観への取り組み (呉市都市部 都市計画課長 檜垣 昌宏)」

「観光資源としての東広島市の景観・文化遺産 (東広島市観光協会会長 蔵田 憲)」

総合討論

司会: 川崎 信文 (マスターズ会員・広大名誉教授)

市民フォーラム開催の趣旨: 東広島市には、貴重な文化遺産が多数あります。文化遺産は、各地域の誇れる「宝」として、大切に守られ受け継がれて来た。これら文化遺産を基に、関連する地域を含めた、魅力的なストーリーを創るなど観光資源としての活用も期待されます。他方、本市は、高層ビルや新しい建物が急増し、町並みの景観が損なわれるなど急速な変化が生じています。このように急変する街の景観をどのように守れるかは、本市の重要課題であると考えます。折しも、西条の酒造施設群は、2017年12月、窯業の有田と共に、日本の20世紀遺産20選に選ばれました(ユネスコ世界文化遺産に関わるイコモスが選定)。その理由は、江戸時代に産業(酒造)として興り、現在に至るまで継続していること。さらに、白壁と赤レンガの煙突が立ち並ぶ景観は、20世紀を代表する建造物として高く評価されました。私共は、町並みの景観と共に、各地域に存在する貴重な文化遺産を見直し、本市の魅力を一層高めるための工夫など、市民の皆様と共に考える機会が大切であると考え、「市民フォーラム」を開催します。どうぞ、よろしくお願い致します。

主催: 広島大学マスターズ、 共催: 広大マスターズ友の会 後援: 東広島市、東広島市教育委員会